

開講年度：2026

科目名	腎・泌尿器 Nephro-urology	題目（副題）	腎・泌尿器
担当教員、教員連絡先内線	秋山 佳之 上條 祐司・菅野 祐幸・田淵 克彦・駒津 光久 5299		
学年、講義期間、曜日・時限	前期（随時） 月曜・1時限 月曜・2時限 月曜・3時限 月曜・4時限 月曜・5時限 月曜・6時限 火曜・1時限 火曜・2時限 火曜・3時限 火曜・4時限 火曜・5時限 火曜・6時限 水曜・1時限 水曜・2時限 水曜・3時限 水曜・4時限 水曜・5時限 水曜・6時限 木曜・1時限 木曜・2時限 木曜・3時限 木曜・4時限 木曜・5時限 木曜・6時限 金曜・1時限 金曜・2時限 金曜・3時限 金曜・4時限 金曜・5時限 金曜・6時限		
単位数、講義室	3 単位	医学科第 2 臨床講堂	遠隔授業科目
信大コンピテンシー	該当		
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素 ⇄		授業達成目標
	M21カリ・医学		
	疾病の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と高度な技法を修得している。	⇄	・腎・泌尿器系・男性生殖器の構造と機能を説明できる。 ・水電解質、酸塩基平衡の調節機構について説明できる。 ・電解質異常を引き起こす疾患の病態と診断、治療について説明できる。 ・腎・泌尿器系疾患の診断と検査について概説できる。
	M26カリ・医学, M25カリ・医学, M24カリ・医学, M23カリ・医学, M22カリ・医学		
	≪基礎的・専門的な知識と技能≫疾病の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と高度な技能を修得している。 ≪問題解決力≫患者の身体的・心理的・社会的状態を科学的に評価し、さまざまな情報を総合して適切に判断し必要な行動ができる。	⇄	・腎・泌尿器系疾患の症候について説明できる。 ・腎・泌尿器系疾患の治療について説明できる。 ・症例個々の身体所見、理学的所見、客観的な所見から正確な診断を行い、生活環境などから、個々に寄り添った適切な治療方針を提供できるようになる
臨床実習前の到達目標	・必要な課題を発見し、他の学習者や教員と協力してより良い具体的な解決方法を見出すことができる。 ・講義、教科書、検索情報などを基に、自らの考えを示すことができる。 ・必要最低限の病歴を聴取し、基本的な身体診察を行うことができる。 ・適切な態度で診断治療を行うことができる。 ・問題志向型医療記録形式を用い、最低限の診療録を作成できる。 ・研究は医学・医療の発展や患者の権利の増進のために行われることを説明できる。 ・生命科学の講義や実習から得られた情報や知識を基に疾患の理解・診断の深化につなげることができる。 ・生涯学習の重要性を説明でき、継続的学習に必要な情報を収集できる。 ・信州の医療圏の特徴を説明できる。		
授業で学べる「テーマ」	健康長寿		
全学横断特別教育プログラム			
授業のキーワード	腎，尿路，男性生殖器，腎臓内科学，泌尿器科学，腎不全，水電解質異常，排尿障害，性分化障害，性機能障害，血尿，タンパク尿，排尿困難，尿失禁，腎炎，腫瘍，先天異常，外傷，尿路結石，尿路閉塞，副腎腫瘍，腎移植，男性不妊 実務経験のある教員による授業科目		
授業の概要・一般目標	D-8)腎・尿路系の構造と機能を理解し、主な腎・尿路系疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療について概説できる。 D-9)生殖系の構造と機能を理解し、生殖器に問題を有する患者の診断と治療について概説できる。 D-12)内分泌・代謝系の構成と機能を理解し、主な内分泌・代謝疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療について概説できる。 E-3)腫瘍の病態、診断と治療について概説できる。 F-1)主な症候・病態の原因、分類、診断と治療の概要を各分野統合して学ぶことにより、医師として必須となる診療の基本を修得する。 F-2-13)輸血と移植の基本について概説できる。		
テキスト，教材，参考書	参考図書：内科学（朝倉書店），新臨床内科学（医学書院），標準泌尿器科学（医学書院），Harrison's Principles of Internal Medicine, Campbell's Urology.		
履修上の注意	事前の配付資料を参照しながら、講義を受けると理解しやすくなります。		
授業の形式，視聴覚機器等の活用	P C プレゼンテーション，ビデオ，プリントなどを活用します。 事前に配布資料があります（eALPSにアップ）。 なお、新型コロナウイルスの感染状況により、オンライン講義になる場合があります。		
成績評価の方法	筆記試験結果によって、100点満点の評価をします。試験では、本授業の学修目標への到達度および今後に必要な知識が定着しているかを確認します。 点数配分： 中間試験：第1-18回までの授業内容より出題：36問（40.9%） 期末試験：第19-46回までの授業内容より出題：52問（59.1%） なお、理解度の確認のため、時に小テストを行う場合があります。その結果は成績評価に		

成績評価の方法	加味することがあります。 ※再試験は行いません。
成績評価の基準	90－100点：秀 80－89点：優 70－79点：良 60－69点：可 59点以下：不可 全ての回に出席することを基本とします。この授業の達成目標に到達するために必要な出席回数（およそ8割程度）に出席が満たない場合は、単位を認めない場合があります。欠席した場合の学修補充については、医学部医学科履修及び試験内規に従います。
事前事後学習の内容	教科書の該当範囲を予習しておくこと。 レジュメをeALPSにアップしておくので予習しておくこと。 課題については、必要に応じて、授業中、指示します。 本授業の単位修得には75時間分の時間外学習が必要です。
学生へのメッセージ並びにオフィスアワー（質問、相談への対応）	腎尿路系および男性生殖系のコアカリキュラムに沿って講義します。内科学（第2，第4）、分子細胞生理学、病理組織学、画像医学と泌尿器科学が統合されたユニット講義の中で学ぶことによって、腎泌尿器系を全体として捉える視点を養ってほしい。 授業は基本的に質問を交えてインターアクティブな形式で進めるので、能動的に参加してほしい。質問、相談へは適宜対応いたします。 連絡先：泌尿器科学教室：TEL: 0263-37-2661 Email: urology@shinshu-u.ac.jp

授業日	第 1 回	4月21日(火 2)	SB0s	D-8-1)②腎・尿路系の位置・形態と血管分布・神経支配を説明できる。③腎の機能の全体像やネフロン各部の構造と機能を概説できる。⑤尿管各部における再吸収・分泌機構と尿の濃縮機序を説明できる。
講義室	GI0	腎病理学：腎臓の構造と機能を理解する		D-8-2)③腎生検の適応と禁忌を説明できる。
担当		上條祐司（内科学第二）		D-8-4)-(7)①腎尿路の主な先天異常（多発性嚢胞腎、膀胱尿管逆流）を概説できる。
授業日	第 2 回	4月21日(火 3)	SB0s	D-8-1)
講義室	GI0	腎臓生理学：糸球体ろ過機能とその調節機序と評価法について学ぶ。		③腎の機能の全体像やネフロン各部の構造と機能を概説できる。
担当		上條 祐司（内科学第二）		④腎糸球体における濾過の機序を説明できる。
				D-8-2)
				②糸球体濾過量（実測、推算）を含む腎機能検査法を概説できる。
				○腎糸球体ろ過の調節機序を説明できる。
授業日	第 3 回	4月21日(火 4)	SB0s	D-8-1)
講義室	GI0	腎臓生理学：尿管の再吸収分泌機能と体液量調節機序について学ぶ。		①体液の量と組成・浸透圧を小児と成人を区別して説明できる。
担当		上條 祐司（内科学第二）		⑤尿管各部における再吸収・分泌機構と尿の濃縮機序を説明できる。
				⑦腎で産生される又は腎に作用するホルモン・血管作動性物質（エリスロポエチン、ビタミンD、レニン、アンギオテンシンII、アルドステロン）の作用を説明できる。
				D-8-3)-(1)
				①高・低Na 血症（原因疾患、症候、治療）を概説できる。
				D-8-3)-(3)
				①脱水
				②浮腫
授業日	第 4 回	4月21日(火 5)	SB0s	D-8-1)
講義室	GI0	腎臓生理学：腎の電解質、浸透圧、pH調節機能について学ぶ。（1）		⑥水電解質、酸・塩基平衡の調節機構を概説できる。
担当		上條 祐司（内科学第二）		⑦腎で産生される又は腎に作用するホルモン・血管作動性物質（エリスロポエチン、ビタミンD、レニン、アンギオテンシンII、アルドステロン）の作用を説明できる。
				D-8-3)-(1)
				②高・低K 血症（原因疾患、症候、治療）を概説できる。
				D-8-3)-(2)
				①アシドーシス・アルカローシス（代謝性・呼吸性）の定義、病態生理と診断を説明できる。
				②アシドーシス・アルカローシス（代謝性・呼吸性）の治療を概説できる。
授業日	第 5 回	4月21日(火 6)	SB0s	D-8-1)
講義室	GI0	腎臓生理学：腎の電解質、浸透圧、pH調節機能について学ぶ。（2）		⑥水電解質、酸・塩基平衡の調節機構を概説できる。
担当		上條 祐司（内科学第二）		⑦腎で産生される又は腎に作用するホルモン・血管作動性物質（エリスロポエチン、ビタミンD、レニン、アンギオテンシンII、アルドステロン）の作用を説明できる。
				D-8-3)-(1)
				③高・低Ca 血症（原因疾患、症候、治療）を概説できる。
				④高・低P 血症、高・低Cl 血症、高・低lg 血症を概説できる。
				D-8-4)-(1)
				⑥慢性腎不全の合併症である腎性貧血、ミネラル骨代謝異常を概説できる。
授業日	第 6 回	4月22日(水 1)	SB0s	D-8-2)
講義室	GI0	腎・泌尿器系の診察・検査法を学ぶ。		①腎・尿路系の画像診断の適応と異常所見を概説できる。
担当		秋山 佳之（泌尿器科学）		②糸球体濾過量（実測、推算）を含む腎機能検査法を概説できる。
				④尿流動態検査を説明できる。
				○腎・泌尿生殖器の診察の要点と手順を説明できる。
				○膀胱・尿道鏡検査の適応、手技の実際について説明できる。
				○尿路系造影検査の種類と適応に就いて説明できる。
授業日	第 7 回	4月22日(水 2)	SB0s	D-8-4)-(7)
講義室	GI0	腎・泌尿器系の外傷・救急疾患について学ぶ。		②腎外傷の症候、診断と治療を説明できる。
担当		小川 典之（泌尿器科学）		○膀胱破裂、尿道損傷の管理ができる。
				○男性生殖器の外傷を理解する。
				○尿路結石仙痛発作の対処ができる。
				○尿閉の診断と対応ができる。
				○精巣捻転の診断と対処ができる。
授業日	第 8 回	4月22日(水 3)	SB0s	D-8-1)
講義室	GI0	水電解質について酸塩基平衡		D-2-14)
担当		高山昇平（内科学第四）		水電解質について説明できる
				Na,K,Cl,Ca,IPの体内分布とその制御を説明できる
授業日	第 9 回	4月22日(水 5)	SB0s	D-8-1)
講義室	GI0	水電解質について酸塩基平衡		D-12-4)
担当		関戸貴史（内科学第四）		尿崩症とSIADHについて説明できる

授業日	第 10 回	4月22日(水 6)	SB0s	D-8-1) D-12-4) 酸塩基平衡の調節について説明できる 4種類の酸塩基平衡異常を挙げ、その評価法について説明できる
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	水電解質について 酸塩基平衡			
担当	関戸貴史（内科学第四）			
授業日	第 11 回	4月23日(木 2)	SB0s	D-8-4)-(3)①高血圧による腎障害（腎硬化症）を概説できる。②腎血管性高血圧症を概説できる。 D-8-4)-(5)①急性・慢性腎盂腎炎の病因と病態を説明できる。②急性・慢性尿細管間質性腎炎の病因を説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	腎腫瘍 多発性嚢胞腎、腎癌			
担当	大谷 真紀（病理組織学）			
授業日	第 12 回	4月23日(木 3)	SB0s	D-8-4)-(7) ①尿路の主な先天異常（膀胱尿管逆流）を概説できる。 D-8-4)-(8) ①尿路結石の病因、症候を説明できる。 ②尿路の炎症（膀胱炎、前立腺炎、尿道炎）の病因を説明できる。 D-8-4)-(9) ②膀胱癌を含む尿路上皮癌の病因、病態と病理所見を説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	尿路 先天異常、尿路結石、尿路上皮癌			
担当	大谷 真紀（病理組織学教室）			
授業日	第 13 回	4月23日(木 4)	SB0s	D-9-4)-(3)①前立腺癌の症候、病理所見を予後を説明できる。②前立腺肥大症の症状、病理所見を説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	前立腺 前立腺肥大、前立腺癌			
担当	大谷 真紀（病理組織学教室）			
授業日	第 14 回	4月23日(木 5)	SB0s	D-9-4)-(1) ①男性不妊症を概説できる。 ②精巣腫瘍の症候、病理所見と予後を説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	精巣 男性不妊、精巣腫瘍			
担当	浅香 志穂（長野県立こども病院臨床検査科）			
授業日	第 15 回	4月24日(金 1)	SB0s	D-12-1) 副腎髓質の構造と機能について説明できる
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	副腎皮質・髓質について			
担当	山崎雅則（内科学第四）			
授業日	第 16 回	4月24日(金 2)	SB0s	D-12-1) 副腎腫瘍の種類と鑑別を説明できる
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	副腎皮質・髓質について			
担当	山崎雅則（内科学第四）			
授業日	第 17 回	4月24日(金 3)	SB0s	D-12-1) 褐色細胞腫、パラガングリオーマの症状、診断、治療について説明できる
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	副腎皮質・髓質について			
担当	山崎雅則（内科学第四）			
授業日	第 18 回	4月27日(月 2～3)	SB0s	
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	中間試験			
担当	秋山 佳之（泌尿器科学）			
授業日	第 19 回	4月27日(月 4)	SB0s	D-8-1)⑧蓄排尿の神経学的機序を説明できる。 F-1-29) ②血尿・タンパク尿をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。 D-8-4)-(9) ①腎癌の症候、病理所見、診断、治療を説明できる。 ○腎細胞癌の治療の中で分子標的薬と免疫チェックポイント阻害薬についてその概要を説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	腎臓生理学：排尿の機序と尿路系の異常を理解する。 腎細胞癌の症状、診断と治療を学ぶ。			
担当	皆川倫範/原寛彰（泌尿器科学）			

授業日	第 20 回	4月28日(火 1)	SB0s	D-8-2)
講義室	医学科第2臨床講堂			①腎・尿路系の画像診断の適応と異常所見を概説できる。
G10	泌尿器領域における画像診断・放射線治療について学ぶ。			○副腎・腎の正常解剖を説明できる。 ○副腎腺腫、副腎癌、転移性副腎腫瘍の画像の特徴を挙げ、鑑別点を説明できる。 ○副腎発生性の骨髄脂肪腫、血管筋脂肪腫、褐色細胞腫の画像の特徴を説明できる。 ○腎嚢胞、傍腎嚢嚢胞、多嚢胞腎症の画像の特徴を挙げ、鑑別点を説明できる。 ○腎細胞癌、Wilms腫瘍、腎膿瘍、黄色肉芽腫性腎盂腎炎の画像の特徴を説明できる。 ○膀胱癌の画像の特徴を説明できる。 ○前立腺癌の画像の特徴を説明できる。
担当	大瀧 歩 (画像医学) 伊奈廣信 (画像医学)			E-3-3) ③腫瘍の放射線療法を概説できる。
授業日	第 21 回	4月28日(火 2)	SB0s	D-8-1)②腎・尿路系の位置・形態と血管分布・神経支配を説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			D-9-1)③男性生殖器の形態と機能を説明できる。
G10	尿路・男性生殖器の構造を学ぶ。			
担当	上野 学 (泌尿器科学)			
授業日	第 22 回	4月28日(火 3)	SB0s	D-8-4)-(7)
講義室	医学科第2臨床講堂			①腎尿路の主な先天異常 (多発性嚢胞腎、膀胱尿管逆流) を概説できる。
G10	腎・尿路・生殖器の先天異常について学ぶ。			○先天性水腎症の鑑別診断を説明できる。 ○多嚢胞性異形成腎について説明できる。 ○重複腎盂尿管について説明できる。 ○原発性膀胱尿管逆流症の病態・診断・治療について説明できる。 ○尿管異所開口の病態・診断・治療について説明できる。 ○性分化異常の分類・診断について説明できる。
担当	上野 学 (泌尿器科学)			D-9-4)-(1) ③停留精巣、陰嚢内腫瘍を概説できる。
授業日	第 23 回	4月28日(火 4)	SB0s	F-1-29)
講義室	医学科第2臨床講堂			①血尿・タンパク尿の原因と病態生理を説明できる。
G10	尿の性状の異常について学ぶ。			②血尿・タンパク尿をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。
担当	上條 祐司 (内科学第二)			③血尿・タンパク尿がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。
授業日	第 24 回	4月28日(火 5)	SB0s	D-8-4)-(1)
講義室	医学科第2臨床講堂			②慢性腎不全 (慢性腎臓病(chronic kidney disease <CKD>)) の病因、症候、診断と治療を説明できる。
G10	慢性腎臓病について学ぶ。			③慢性腎臓病<CKD>重症度分類を説明できる。
担当	上條 祐司 (内科学第二)			
授業日	第 25 回	4月28日(火 6)	SB0s	D-8-4)-(1) ⑥腎不全の治療 (血液透析・腹膜透析・腎移植) を説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	腎移植について学ぶ。			
担当	上條祐司 (内科学第二)			
授業日	第 26 回	4月30日(木 1)	SB0s	D-9-1)
講義室	医学科第2臨床講堂			①生殖腺の発生と性分化の過程を説明できる。
G10	男性不妊および性機能障害について学ぶ。			②男性生殖器の発育の過程を説明できる。
				③男性生殖器の形態と機能を説明できる。
				④精巣の組織構造と精子形成の過程を説明できる。
				⑤陰茎の組織構造と勃起・射精の機序を説明できる。
				D-9-3)-(1) ①勃起不全と射精障害を概説できる。
				②精巣機能障害を概説できる。
担当	天野 俊康 (泌尿器科学)			D-9-4)-(1) ①男性不妊症を概説できる。
授業日	第 27 回	4月30日(木 2)	SB0s	D-8-4)-(8)
講義室	医学科第2臨床講堂			②尿路の炎症 (膀胱炎・前立腺炎・尿道炎) の病因、診断と治療を説明できる。
G10	尿路の炎症と陰嚢内腫瘍をきたす疾患について学ぶ。			D-9-4)-(1) ③停留精巣、陰嚢内腫瘍を概説できる。
担当	皆川 倫範 (泌尿器科)			○診断における膿尿、細菌尿の重要性を理解し各疾患についての診断法を理解する。

授業日	第 28 回	4月30日(木 3)	SB0s	D-8-4)-(8) ③神経因性膀胱を概説できる。 ○尿失禁および神経障害に伴う排尿障害の病態を説明できる。 ○下部尿路機能検査法を説明できる。 ○二分脊椎、脊髄損傷、骨盤腔内手術に伴う膀胱機能障害に対するそれぞれの治療を説明できる。 F-1-28)①尿量・排尿の異常の原因と病態生理を説明できる。 D-9-4)-(1)②前立腺肥大症の診断と治療を説明できる。 ○成人において尿路閉塞をきたす病態について説明できる。○小児において尿路閉塞をきたす病態について説明できる。○水腎症において、早期の外科的処置の適応を説明できる。○上部尿路閉塞の診断法を説明できる。○下部尿路閉塞の診断法を説明できる。○分腎機能の評価法について説明できる。○排尿困難を来す疾患の病態を説明できる。○国際前立腺症状スコアを説明できる。○前立腺肥大症の手術適応を説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	尿失禁・神経因性膀胱について学ぶ。尿路閉塞をきたす病態および、前立腺肥大症の症状、診断と治療について学ぶ。			
担当	齊藤徹一/皆川倫範（泌尿器科学）			
授業日	第 29 回	4月30日(木 5)	SB0s	D-8-4)-(3) ①高血圧による腎障害（腎硬化症）を概説できる。 ②腎血管性高血圧症を概説できる。 D-8-4)-(4) ①尿管性アシドーシスの分類、病態生理、診断と治療を説明できる。 ②Fanconi 症候群（腎性糖尿を含む）の概念、症候と診断を説明できる。 D-8-4)-(5) ②急性・慢性尿管間質性腎炎の病因、症候、診断と治療を説明できる。 ○急性尿管壊死の原因、症候、診断と治療を説明できる。 ○尿管トランスポータ異常による疾患を説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	血管・尿管・間質病変について学ぶ			
担当	橋本 幸始（内科学第二）			
授業日	第 30 回	4月30日(木 6)	SB0s	D-8-3)-(1) ①高・低Na 血症（原因疾患、症候、治療）を概説できる。 ②高・低K 血症（原因疾患、症候、治療）を概説できる。 ③高・低Ca 血症（原因疾患、症候、治療）を概説できる。 ④高・低P 血症、高・低Cl 血症、高・低Mg 血症を概説できる。 D-8-3)-(2) ②アシドーシス・アルカローシス（代謝性・呼吸性）の治療を概説できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	電解質・酸塩基平衡異常の治療について学ぶ			
担当	橋本 幸始（内科学第二）			
授業日	第 31 回	5月 1日(金 1)	SB0s	D-9-4)-(3) ②精巣腫瘍の症候、診断、治療を説明できる。 ○陰茎癌の症候，診断，治療を理解し，説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	精巣腫瘍・陰茎癌の診断・治療について学ぶ。			
担当	小川 典之（泌尿器科学）			
授業日	第 32 回	5月 1日(金 2)	SB0s	D-9-4)-(3) ①前立腺癌の症候、病理所見、診断、治療を説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	前立腺癌の疫学、診断、治療について学ぶ。			
担当	小川 典之（泌尿器科学）			
授業日	第 33 回	5月 1日(金 3)	SB0s	D-12-4)-(4) ①Cushing 症候群の病態、症候と診断を説明できる。 ②アルドステロン過剰症、原発性アルドステロン症を概説できる。 D-12-4)-(10) ②褐色細胞腫の病態、症候、画像所見、病理所見、診断、治療法を説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	副腎腫瘍の疫学、診断、病態、治療について学ぶ。			
担当	塩崎政史（泌尿器科学）			
授業日	第 34 回	5月 1日(金 4)	SB0s	D-8-4)-(2)③ネフローゼ症候群の分類、症候、診断と治療を説明できる。⑤臨床症候分類（急性腎炎症候群、慢性腎炎症候群、ネフローゼ症候群、急速進行性腎炎症候群、反復性または持続性血尿症候群）を概説できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	糸球体病変について学ぶ(1)。			
担当	上條 祐司（内科学第二）			
授業日	第 35 回	5月 1日(金 5)	SB0s	D-8-4)-(2) ①急性糸球体腎炎症候群の病因、症候、診断と治療を説明できる。 ②慢性糸球体腎炎症候群（IgA 腎症を含む）の症候、診断と治療を説明できる。 ③急速進行性糸球体腎炎を概説できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	糸球体病変について学ぶ(2)。			
担当	上條 祐司（内科学第二）			
授業日	第 36 回	5月 1日(金 6)	SB0s	D-8-4)-(6) ①糖尿病腎症の症候、診断と治療を説明できる。 ③アミロイド腎症の症候、診断と治療を説明できる。 D-8-4)-(3) ①高血圧による腎障害（腎硬化症）を概説できる。 ○二次性糸球体性疾患を来す病気（ファブリ病、アルポート症候群）について理解する。
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	糸球体病変について学ぶ(3)。			
担当	上條 祐司（内科学第二）			

授業日	第 37 回	5月 7日(木 1)	SB0s	F-1-29)
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	血尿、排尿の異常をきたす病態・鑑別診断を学ぶ。			①血尿・タンパク尿の原因と病態生理を説明できる。 ②血尿・タンパク尿をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。
				F-1-28) ①尿量・排尿の異常の原因と病態生理を説明できる。
				○排尿困難とはどのような症状を指すのかが説明できる。 ○頻尿・夜間頻尿の原因、診断の要点を説明できる。 ○尿失禁の分類を説明できる。 ○尿失禁をきたす代表的な病態を説明できる。
担当	秋山 佳之（泌尿器科学）			
授業日	第 38 回	5月 7日(木 2)	SB0s	D-8-4)-(9)
講義室	医学科第2臨床講堂			②膀胱癌を含む尿路上皮癌の症候、診断、治療を説明できる。
GI0	尿路上皮癌（膀胱癌、腎盂尿管癌）の診断と治療を学ぶ。			F-1-29) ①血尿・タンパク尿の原因と病態生理を説明できる。 ②血尿・タンパク尿をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。
担当	秋山 佳之（泌尿器科学）			
授業日	第 39 回	5月 7日(木 3)	SB0s	D-8-4)-(8)
講義室	医学科第2臨床講堂			①尿路結石の病因、症候、診断と治療を説明できる。
GI0	尿路結石の成因、症候、診断と治療を学ぶ。 ○授業のふりかえりを入力する			
担当	秋山 佳之（泌尿器科学）			
授業日	第 40 回	5月 7日(木 4)	SB0s	D-8-3)-(3)
講義室	医学科第2臨床講堂			①脱水
GI0	輸液について学ぶ。			○脱水の鑑別診断と輸液による補正について説明できる。 ○補液製剤の特徴を挙げられる。 ○病態に応じた輸液療法を説明できる。
担当	橋本 幸始（内科学第二）			
授業日	第 41 回	5月 7日(木 5)	SB0s	D-8-4)-(1)
講義室	医学科第2臨床講堂			①急性腎不全（急性腎障害）の病因、症候、診断と治療を説明できる。 ②慢性腎不全（慢性腎臓病(chronic kidney disease <CKD>))の病因、症候、診断と治療を説明できる。 ④慢性腎不全の合併症である腎性貧血、ミネラル骨代謝異常を概説できる。 ○急性腎不全と慢性腎不全の鑑別ができる。
GI0	腎機能障害について学ぶ			
担当	橋本 幸始（内科学第二）			
授業日	第 42 回	5月 7日(木 6)	SB0s	D-8-4)-(1)
講義室	医学科第2臨床講堂			⑤透析導入基準（慢性腎不全）を説明できる。 ⑥腎不全の治療（血液透析・腹膜透析・腎移植）を説明できる。
GI0	腎不全治療と血液浄化療法と合併症について学ぶ。			○腎不全患者の合併症について学ぶ
担当	橋本 幸始（内科学第二）			
授業日	第 43 回	5月11日(月 2～3)	SB0s	
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	期末試験			
担当	秋山 佳之（泌尿器科学）			